

コレクション || ウラがもれる

2013.01.12sat-03.03sun

# THROUGH THE OTHER SIDE

collection

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび伊丹市立美術館では、2013年1月12日（土）より「コレクション ウラがもれる」展を開催いたします。

内と外、裏と表、光と影。目に見える領域と背中合わせで存在する、もう一つの隠れた世界。両者は正反対でありながら、切っても切れない関係にあります。

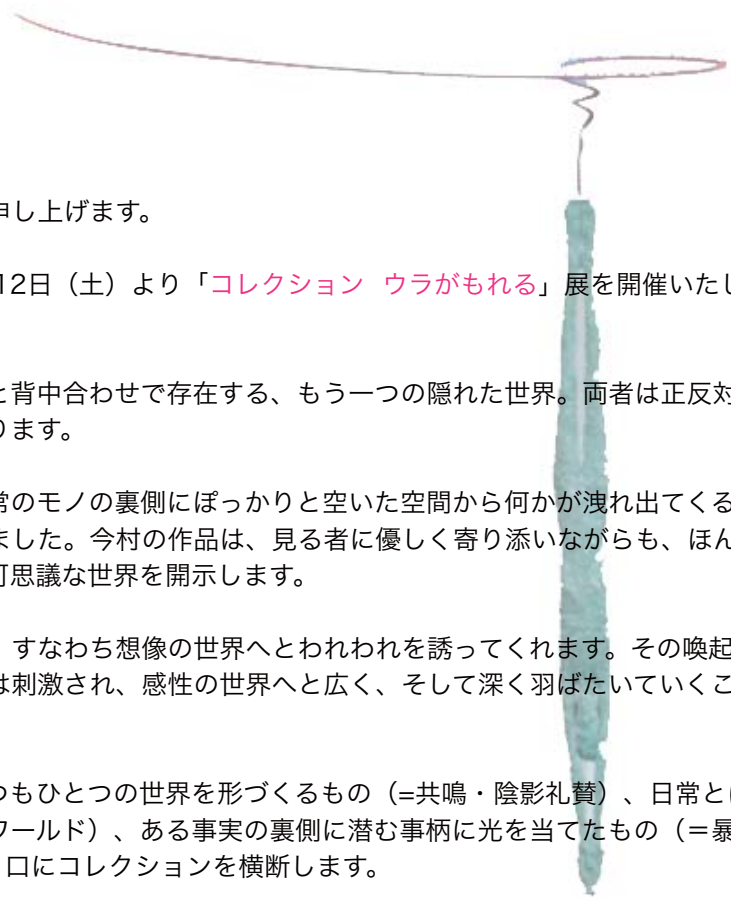
「ウラがもれる」というタイトルは、「日常のモノの裏側にぼっかりと空いた空間から何かが洩れ出てくるような。」という今村源の言葉から引用しました。今村の作品は、見る者に優しく寄り添いながらも、ほんの一瞬の間をついて、日常のウラにある不可思議な世界を開示します。

このように美術作品は、目に見えない世界、すなわち想像の世界へとわれわれを誘ってくれます。その喚起力が大きければ大きいほど、見る者の五感に刺激され、感性の世界へと広く、そして深く羽ばたいていくことでしょう。

本展では、光と影などコントラストを成しつつもひとつの世界を形づくるもの（=共鳴・陰影礼賛）、日常とは異なる世界を示唆するもの（=アナザー・ワールド）、ある事実の裏側に潜む事柄に光を当てたもの（=暴かれたものたち）など、様々な"ウラ"を切り口にコレクションを横断します。

果たしてどんな"ウラ"がもれだすのか。風の匂いや、木々のざわめきを感じるように、あるいは記憶の彼方へ思いを馳せるように、五感を研ぎ澄ましてお楽しみください。

つきましては、この好機にぜひ貴媒体にて「コレクション ウラがもれる」展をご紹介くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 開催概要 Outline

- 展覧会名(日本語): コレクション ウラがもれる  
展覧会名(英語): COLLECTION Through the Other Side
- 会期: 2013年1月12日(土)～3月3日(日)  
開館時間: 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)  
休館日: 月曜日(但し1月14日, 2月11日は開館、1月15日, 2月12日休館)  
会場: 伊丹市立美術館  
問合せ先: 〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20 tel.072-772-7447  
交通: 阪急伊丹駅より徒歩東へ約9分、JR伊丹駅より徒歩北西へ約6分  
阪急バス[系統56: 阪神尼崎⇄川西ターミナル]伊丹中央下車徒歩北へ3分  
\* 美術館には専用駐車場はありません(宮ノ前地下市営駐車場等をご利用ください)  
入館料: 一般500(400)円/大高生250(200)円/中小生100(80)円  
\*( )内は20名以上の団体割引料金  
\* 兵庫県内の小・中学生はココロカード、クローバーカードの提示にて入場無料  
\* 4市1町(伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町)の高齢者割引有(平日は60歳以上、土日祝は65歳以上)  
主催: 伊丹市立美術館[公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市]

## 展示構成と主な出展作家 Chapters & Artists

- 展示構成
- I. 共鳴 Resonance
  - II. アナザー・ワールド Another World
  - III. 暴かれたもの Reveal
- \* 章タイトルは予定です。

主な出展作家 今村源(1957- )、土谷武(1926-2004)、堀尾貞治(1939- )、山田光(1923-2001)  
オノレ・ドーミエ(1808-1879)、ニキ・ド・サンファール(1930-2002)、ジャン・デュビュッフエ(1901-1985)、  
ジェイムズ・ギルレイ(1756-1815)、J.J グランヴィル(1803-1847)、デヴィッド・サーレ(1952- )、  
マン・レイ(1890-1976)、ロルフ・ユリウス(1939-2011) など

## 特別出品 Special Exhibit



《シダとなる・イタミ2013》  
プランスケッチ

◆今村源さんの新作を美術館に贈りましょう!◆

当館への寄贈候補の新作《シダとなる・イタミ2013》が本展に出品されます!

関連企画 | アーティスト・トーク

1月19日[土] 14:00- 今村源(美術家) 聞き手: 岡山拓(美術ライター)

伊丹市立美術館1F講座室 聴講無料(展覧会への入場には別途観覧券が必要です)

主催 | 美術館にアートを贈る会

\* このプロジェクトの詳細は、下記ウェブサイトをご覧ください。

美術館にアートを贈る会 第4弾寄贈プロジェクト URL: <http://www.art-okuru.org/>  
〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 アートコートギャラリー内  
E-mail: [info@art-okuru.org](mailto:info@art-okuru.org)

\*\*\*\*\*  
【本展覧会に関するお問合せ先】

伊丹市立美術館 〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20

tel.072-772-7447 fax.072-772-5558 <http://www.artmuseum-itami.jp>

展覧会担当: 藤巻 / 広報資料請求: 斉藤、玉澤

## 主な作品 Works

\* nos.4-8の掲出図版は、広報用画像として提供可能です。掲載ご希望の方は別紙ファックスシートにてご希望の図版番号をお知らせください。



1. ジャン・デュビュッフェ  
《思い出の風景》1979年 シルクスクリーン



2. デヴィッド・サーレ  
《無題》1990年 エッチング  
\*「自由の記憶」より



3. マン・レイ  
《会合》1916-17年 シルクスクリーン  
\*「回転とびら」より



4. 今村源  
《ダイブII》2006年 樹脂



5. 堀尾貞治  
《あたりまえのこと APR 2007》2007年 アクリル絵具, カンヴァス



6. J.J.グランヴィル  
『生きている花々』中表紙1867年(初版1847年)



7. オノレ・ドーミエ  
《1831年の仮面の数々》1832年  
リトグラフ



8. ジェイムズ・ギルレイ  
《すべてを紙幣に変えるミダス王》  
1797年 エッチング

伊丹市立美術館宛 F A X . 072-772-5558

コレクション ウラがもれる 広報用画像申込書

下記ご記入の上、F A Xにてご送信ください。追って画像データをメールにてお送りいたします。

★なお、本展をご紹介くださる媒体に対し、本展のご招待券を読者／視聴者プレゼント用にご提供いたします。ご希望の方は、併せて下記にチェック欄にご記入ください。

掲載媒体名：.....

あてはまる種別に○をおつけください

掲載予定日：..... 媒体種別：新聞／雑誌／フリーペーパー／テレビ  
ラジオ／ネット媒体／その他

御社名：..... ご担当者名：.....

Eメールアドレス：..... @.....

ご住所：〒.....

電話番号：..... F A X 番号：.....

希望画像no.：..... 画像名：.....

希望画像no.：..... 画像名：.....

希望画像no.：..... 画像名：.....

プレゼント用招待券をご希望の場合は、下記のいずれかに✓をお付けください。

5組10名様  10組20名様

なお、画像データの使用に際し、下記の点についてご注意ください。

- ・画像データは、申請の目的以外には使用しないでください。所蔵館および著作権者との取り決めにより、営利を目的とした商品などへの掲載、会期終了後の掲載は許可されておりませんので、ご協力をお願いします。
- ・ご使用の際は、こちらからご案内するキャプションならびにクレジットの表記をお願いします。
- ・部分使用やトリミング、図版の上に文字を重ねるなどの処理はご遠慮ください。
- ・本展記事をご紹介くださる際は、恐れ入りますが情報確認のため、校正をお送りください。また掲載された刊行物、DVD、CD等も当館に一部ご寄贈ください。

お問合せ先：伊丹市立美術館

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20  
tel.072-772-7447 fax.072-772-5558